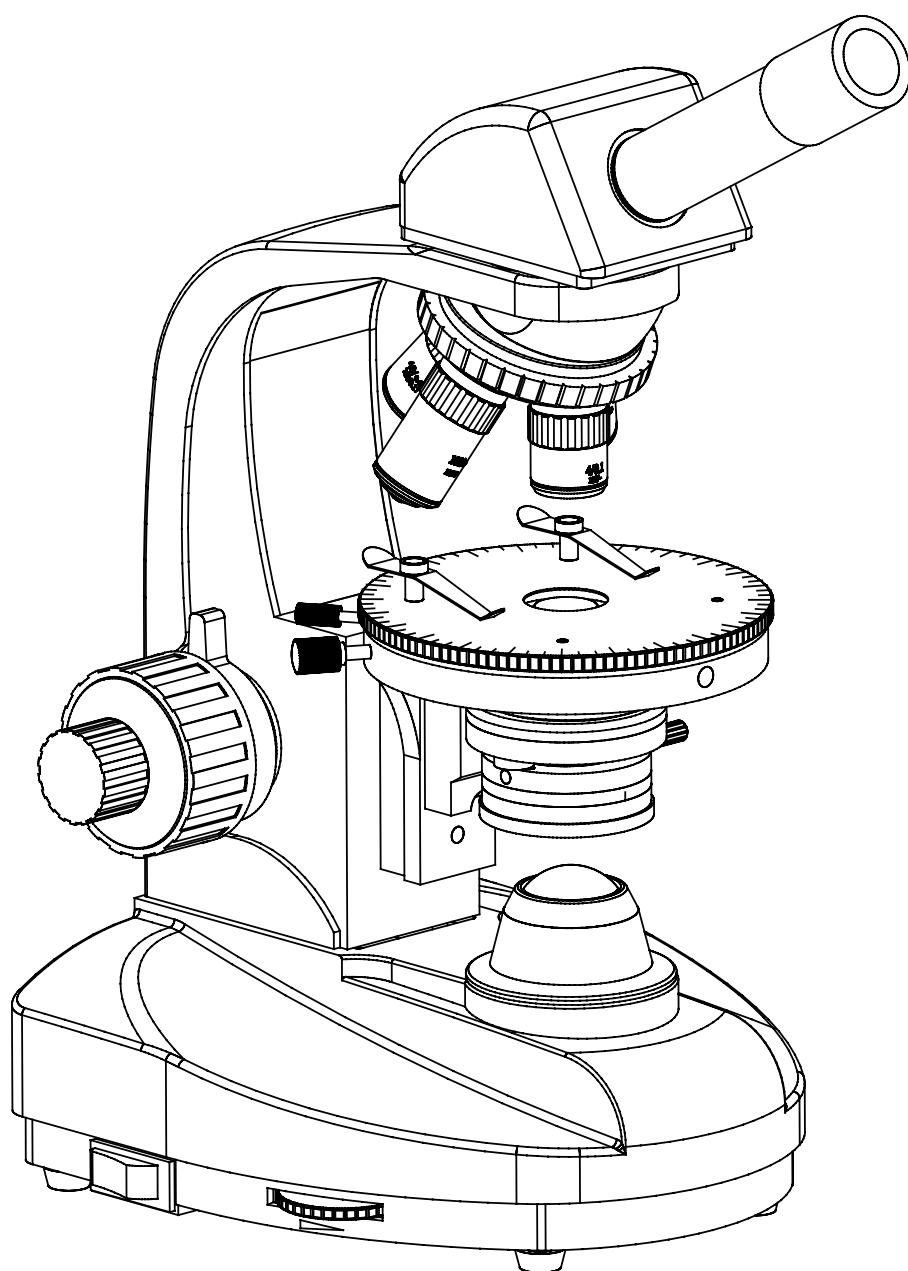


ケニス鉤物顕微鏡 PL

取扱説明書





I . 取扱い上の注意

①取扱いは慎重に

- ・顕微鏡を運搬するときや各部の操作、手入れの際、衝撃を与えたり、水分・熱・ほこりにさらさないで下さい。
- ・運搬の際にステージや鏡筒などを持つと破損の原因になりますので、持たないで下さい。
- ・持ち運びや、運搬の際は電源スイッチを OFF にして下さい。
- ・レンズ類にはほこり、指紋などを付けないよう注意して下さい。もし付いたときは③「レンズの清掃」を参照して清掃して下さい。
- ・各部の分解は性能を害する恐れがありますので、行わないで下さい。

②使用場所

- ・振動の少ないところに置き、直射日光の当たるところやほこりの多いところ、高温・多湿の場所での使用は避けて下さい。
- ・顕微鏡の設置は、底面の通気口をふさがらない平らな台に設置して下さい。表面が柔らかで顕微鏡が沈み込む形式の台の上に置くと、底面の通気口をふさぎ、火災の原因となります。

③レンズの清掃

- ・接眼レンズ、対物レンズ（油浸レンズを除く）、コンデンサのゴミ
 1. ブロアーで吹き飛ばす
 2. 除去できない場合は、クリーニング棒にエーテルとアルコール 7：3 の混合液をつけ、クリーニングする。

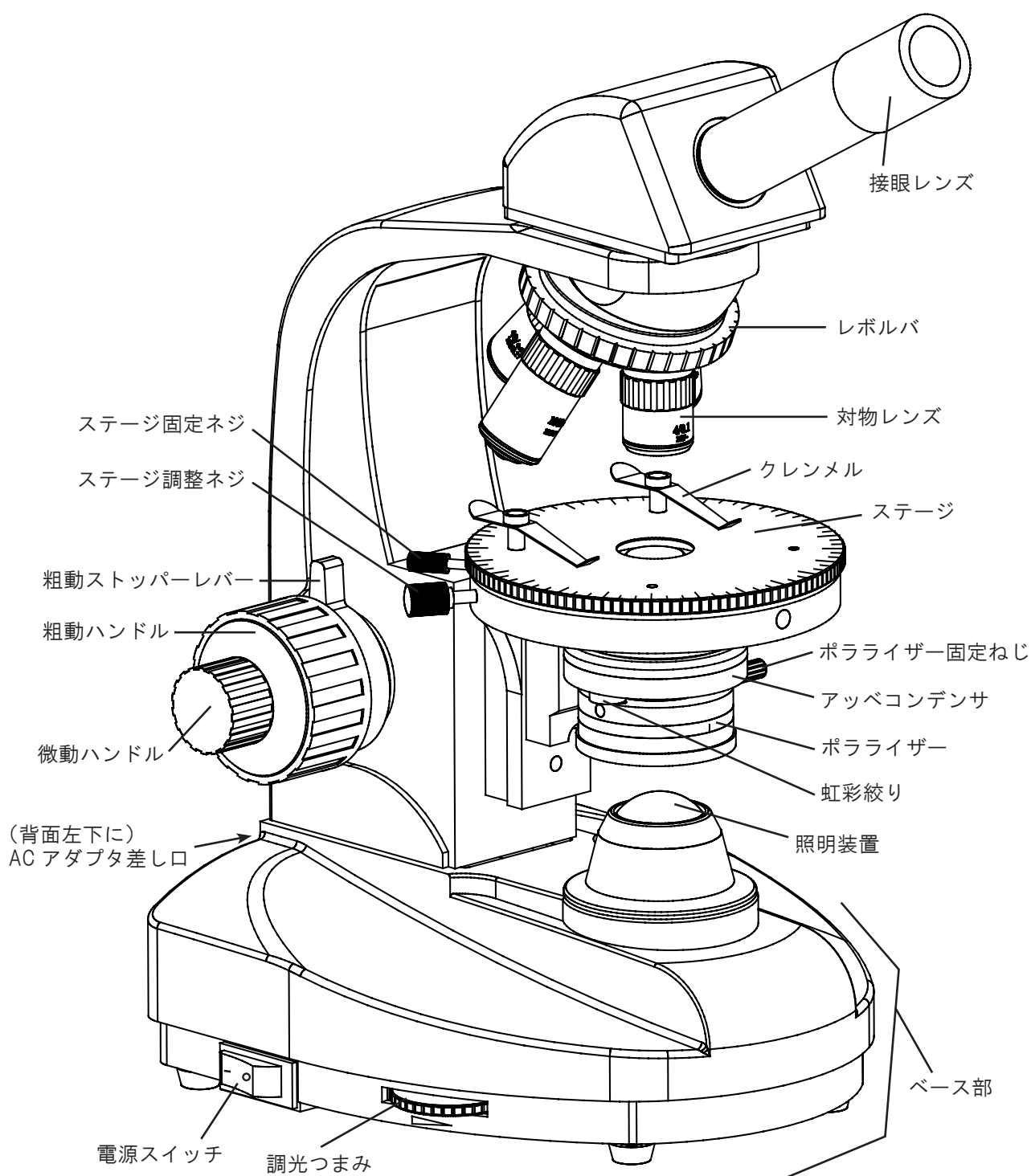
④使用しないとき

- ・使用後または異常時には電源コードをコネクタ部または電源コンセントから取り外して下さい。
- ・電源コードは当社付属のものを必ず使用して下さい。正しい電源コードを使用しないと製品の安全性能が保証できません。
- ・使用しないときは必ず、ベース部が冷えていることを確認して、ロッカーや木箱に入れるか、ほこり避けのダストカバーをかけ、湿気が少なくカビの発生しにくい場所に保管して下さい。

Ⅱ．仕 様

項目	仕様				
接眼レンズ	広視野 WF10 × 視野数：18 / (十字入レンズ・標準レンズ 各 1)				
対物レンズ (アクロマート)	倍率	4 ×	10 ×	40 ×	
	N.A	0.10	0.25	0.65	
	W.D(mm)	17.9	5.0	0.56	
ステージ	サイズ	120mm φ			
	移動範囲	360° 回転 2° 目盛 ステージ固定ネジ			
焦準機構	ローラーガイド (ラック & ピニオン方式) によるステージ上下動式 粗動ストッパーレバー付、粗動ハンドル重さ調整式				
コンデンサ	アッベコンデンサ 1.25				
ポライザー アナライザー	ポライザー：0.90.180.270° 固定式 アナライザー：鏡筒組込式				
照明系	LED 光源 (充電式) 調光装置付 充電式単 3 ニッケル水素電池 × 3				
付属	AC アダプタ・ダストカバー				

Ⅲ . 各部の名称



Ⅳ．操作方法

1. AC アダプタのコードを背面左下にある差し口に差し込み、AC アダプタをコンセントに差し込む。
2. 電源スイッチを ON にする。（電源を入れると照明装置が点灯します）
3. プレパラートをステージに載せ、クレンメルで固定します。
4. 対物レンズを 4 × にし、粗動ハンドル、微動ハンドルを使ってピント調整します。
5. 必要に応じて対物レンズを高倍に変えたり、ステージを回転させて観察して下さい。

Ⅴ．各部の調整方法

1. 焦準装置の調整方法

1. 粗動ハンドルのテンション調整ハンドル①を回します。（図 1）手前方向に回すと粗動ハンドル②の回転は重くなり、逆に回すと軽くなります。
2. ステージが自然降下したり、微動ハンドル③でピントを合わせてもすぐぼけてしまう場合は、ゆめ過ぎですのでテンション調整ハンドル①を手前方向に回して回転を重くします。
3. 粗動ストッパーは、標本と対物レンズの衝突防止及びピント合わせの迅速化のための機構です。標本にピントを合わせた後に、粗動ストッパーレバー④を奥方向に回してロックすると、粗動の上限が制限されます。

※微動ハンドルでのピント合わせは制限されません。

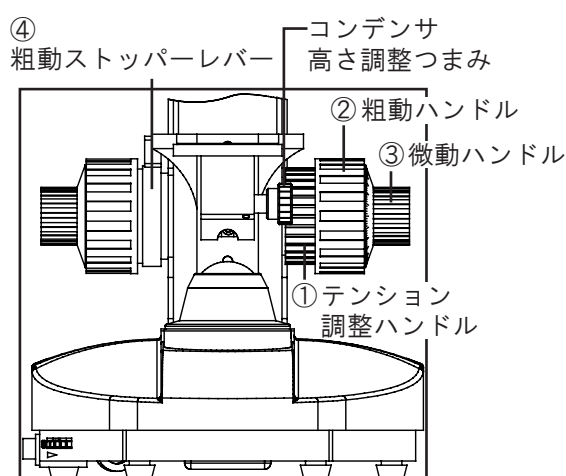


図 1

2. 回転ステージの調整方法

1. サンプルをステージの上に置き、対物レンズを 10 倍にセットします。接眼レンズでは十字入をセットします。
2. ステージを回転させたとき、標本の一点①が描く円の中心が接眼レンズの十字線の交点②に来るように、2本のステージ調整ネジ①を回して調整します。ステージを回転させたとき、ターゲット①がステージを中心に円を描いて動けば調整完了です。（図 3）
3. ステージの回転を固定したい場合は、ステージ固定ネジ②を締めます。（図 2）

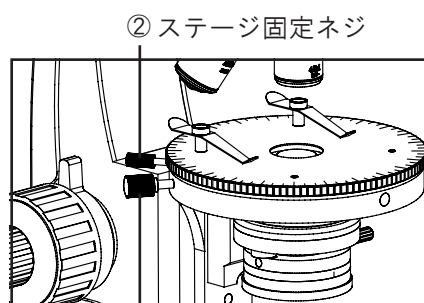


図 2 ① ステージ調整ネジ

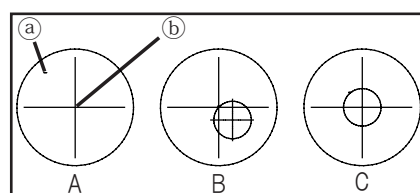


図 3

3. アナライザー・光路調整方法

1. アッペコンデンサの下にあるポライザー①の目盛りを「0」に合わせます。(図 4)
2. アナライザーのつまみ②を引張りクロスニコル状態にします。(図 5)
3. ステージにサンプルを設置し、ステージを回転させることで光路を調整しながら観察できます。

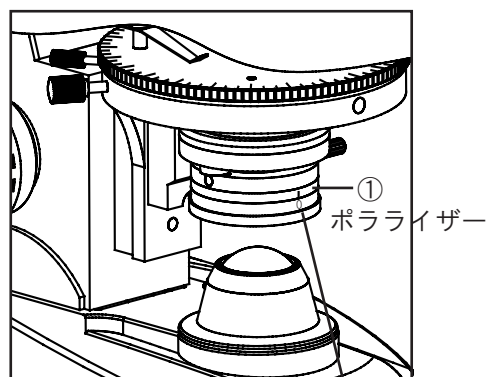
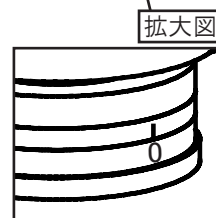


図 4



目盛を 0 に合せる

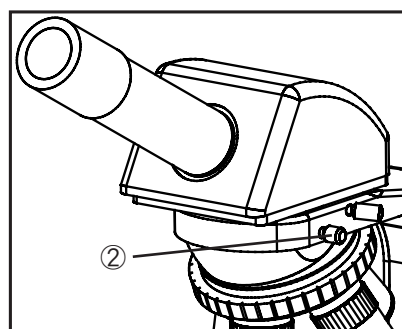


図 5

Ⅵ. 顕微鏡の充電について

＜充電方法＞

- ① 顕微鏡の背面にある AC アダプタ接続部と、付属の AC アダプタを接続します。
- ② AC アダプタをコンセントにつないで充電が開始されると、AC アダプタのパイロットランプが赤く点灯します。
- ③ 充電時間は電池残量により異なりますが、フル充電の場合 6 ～ 8 時間で充電が完了します。
- ④ 充電が終了しますと、AC アダプタのパイロットランプが緑色に点灯します。

＜充電電池の交換方法＞

- ① 顕微鏡の底面にあるねじをプラスドライバーではずして開けます。
- ② 中の電池ボックスについたねじを、プラスドライバーではずしてふたを開けます。
- ③ 市販の単 3 充電電池を 3 本入れます。
- ④ 電池ボックスのふたを取り付け、プラスドライバーでねじを固定します。
- ⑤ 顕微鏡底部を取り付け、プラスドライバーでねじを固定します。

※ 充電電池は＋を逆にして使用しないで下さい。

※ 新旧の電池、乾電池、容量、種類、銘柄の違う電池を使用しないで下さい。

ケニス 鉋物顕微鏡 PL 保証書

本製品は、当社の厳密な検査に合格したものであることを証明し品質の保証を致します。
万一ご購入年月日より1ヵ年以内に当社の責任と認められる故障を生じた場合は、本保証書を提示くだされば保証規定により無償修理を致します。

ご購入年月日： 年 月 日

ご 購 入 者：氏名

住所

販 売 店：氏名

住所

※必ず販売店の捺印を受けて下さい。その際、ご購入年月日をご記入下さい。

〔保証規定〕

1. 修理の際は必ず本保証書を添付の上お申し付け下さい。ご提示のない場合は、本保証書の無料修理の有効期間内でも有料となります。
2. 本保証書の無料修理期間後は、有料修理となります。
3. ご購入店名、ご購入年月日、ご購入者氏名及び住所の記入のない場合、及びそれらを訂正した場合は無効となります。
4. 故障原因が次の場合は、保証範囲の枠外となり有料となります。
 - ①乱用または使用法の誤りによる故障
 - ②天災、火災、地変等による故障
 - ③当社以外での修理改造、分解清掃等による故障
 - ④ショックまたは加圧、並びに保存上の不備による故障
 - ⑤その他、上記各項に準ずる場合
5. 電池等の消耗品類及びそれらに起因する故障または損害には本保証書は適用されません。
6. 修理品の運賃、諸掛り費用はお客様にてご負担願います。
7. 本製品の故障に起因する付随的損害については補償致しかねます。
8. 日本国外へ持ち出された場合は、本保証書は適用されません。

※修理に際しましては修理箇所、内容を明確にご提示下さい。

※保証書は紛失されましても再発行は致しませんので大切に保存して下さい。

本 社	大 阪 市 北 区 天 満 2 丁 目 7-28	電 話 06-4800-0721
東 京 支 社	東 京 都 江 東 区 佐 賀 1 丁 目 2-8	電 話 03-3630-8121
福 岡 支 店	福 岡 市 博 多 区 東 比 恵 3 丁 目 16-3	電 話 092-473-6600
広 島 支 店	広 島 市 西 区 三 篠 町 2 丁 目 9-15	電 話 082-537-2511
札 幌 営 業 所	札 幌 市 北 区 北 10 条 西 4-1-19	電 話 011-746-1061
	楠本第10ビル1階	
仙 台 営 業 所	仙 台 市 青 葉 区 花 京 院 2 丁 目 1-61	電 話 022-302-5460
	オークツリー仙台 601 号室	